

くらしの 情報館

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/

☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎②1111/Fax⑦2577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③2111/Fax③2234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④2111/Fax④2409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎⑤2111/Fax⑤3584

募集

ぐるり白河文化遺産めぐり

- 《スタンプリリー》
- 日時 10月26日(土)～11月4日(月)／午前10時～午後3時
 - 内容 すべてのスタンプを集めた方に賞品プレゼント(先着100人)
 - 《ツアー》
 - 日時 10月26日(土)／午前9時～午後2時30分
 - 定員 ▼写経・座禅コース 20人 ▼戊辰と八重コース 25人 ※要予約(先着順)

案内

赤十字すまいるぱーく

- 巨大エア遊具など、子どもが屋内で思い切り遊べる「赤十字すまいるぱーく」を開催します。20日には、アンパンマンショーも行われます。
- 日時 10月16日(水)～24日(木) ▼平日 午後1時～5時 ▼土・日曜日 午前10時～正午、午後1時～5時
 - 会場 市国体記念体育館(北中川原)
 - 赤十字すまいるぱーく事務局 ☎0120-9131454

特別児童扶養手当

- 受給資格者 身体または知的・精神に、中度または重度の障がい有する20歳未満の児童を看護している父もしくは母、または父母に代わって児童を養育している方
- 支給制限 受給資格者および扶養義務者などの前年の所得が限度額以上の場合は、その年度(8月から翌年7月ま

- 参加料 500円
- 本庁舎まちづくり推進課 内2743

第4回ちよい飲みツアー参加者

- 日時 11月6日(水)／午後7時～9時
- 定員 30人 ※先着順
- 参加料 2,100円
- 申込期限 11月1日(金)まで ※コースは当日発表します。
- 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎3101

樹木せん定講習会

- 日時 11月7日(木)・14日(木)・21日(木)／午前10時～午後3時 ※すべて参加できる方
- 会場 城山公園(郭内)
- 内容 初歩的な松・梅などのせん定 ※終了後、希望者は樹木の里親制度加入
- 定員 30人 ※先着順
- 受講料 無料
- 申込期限 10月23日(水)まで
- 本庁舎観光課 内2213

農業経営者海外派遣研修生

- 派遣国 アメリカ合衆国

で)の手当の支給が停止されます。

- 申請・問い合わせ先 本庁舎社会福祉課 内2714

行政相談週間

10月21日から27日までは、「行政相談週間」です。行政相談委員は、総務大臣から委嘱され、行政機関や特殊法人などの仕事に関して、苦情や困りごと・要望などの相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

- 相談期間中は、「特設行政相談所」を開設します。相談は無料で、秘密は厳守します。
- 日時 10月24日(木)／午後1時～3時
- 会場 本庁舎地下第1会議室
- 行政相談委員
- ▼内田宜枝(郭内51) ☎③3518
- ▼中村周常(本町26) ☎③357
- ▼鈴木博之(表郷番沢字樋ノ口62-1) ☎③3157
- ▼内藤直方(大信下小屋字西宿25) ☎④2547
- ▼水野谷正明(東栃本字市倉

- 期間 平成26年1月19日(日)～29日(水)
- 資格要件 県内に居住し、農業に従事する20歳以上の方
- 申込期限 10月25日(金)まで ※費用など、詳しくはお問い合わせください。
- 申し込み・問い合わせ先 福島県国際農友会事務局 ☎024-524-1201

高齢者施設巡りツアー

あった介助

- 市内の高齢者施設4か所を巡り、介護への理解を深めるツアーの参加者を募集します。
- 日時 11月12日(火)／午前9時30分～午後3時30分
 - 定員 20人 ※先着順
 - 参加料 500円(昼食代)
 - 申込期限 10月31日(木)まで
 - 本庁舎高齢福祉課 内2722

案内

廃棄パソコン収集開始

廃棄パソコンは、小型家電リサイクル法の施行により、

- 本庁舎総務課 内2313
- 各庁舎総務課 表郷 ☎③2111 大信 ☎④2111 東 ☎④2111

収穫祭・そばまつり

- 日時 10月26日(土)・27日(日)／午前10時～午後3時
- 会場 白河関の森公園(旗宿)
- 内容 手打ちそばや石窯焼きピザ等の販売のほか、子どもが楽しめるステージイベントやミニコンサートなど
- 白河旗宿まつり実行委員会(本庁舎観光課内) 内2213

県文化振興財団助成事業

県では、文化活動支援を目的に、12月1日から平成26年3月31日までにを行う対象事業を助成します。詳しくはお問い合わせください。

- 対象事業 県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体の行う文化活動(成果発表事業、発表会等への参加事業、文化財の保護事業など)

特定健診を受けましょう

特定健診は10月31日(木)で終了します。国民健康保険に加入する40歳以上の方で、まだ受診していない方は、指定の医療機関で受診しましょう。受診券を紛失した場合は再交付できますので、ご連絡ください。なお、通院治療中の方も特定健診の対象となります。受診の要否は、主治医にご相談ください。特定健診は、各医療機関に直接お申し込みください。●本庁舎国保年金課 内2176

10月から「燃えないごみ」の指定袋で回収しますので、集積所に出してください。キーボード・マウス・ケーブルなどの付属装置も含まれます。指定袋に入らないパソコンは、西白河地方リサイクルプラザへ持参するか、粗大ゴミの戸別収集をご利用ください。●本庁舎生活環境課 内2164

消防サイレン吹鳴

市消防団秋季検閲のため、10月27日(日)午前7時より、消防サイレンを吹鳴します。火災と間違えのないようご注意ください。●本庁舎生活環境課 内2166

- 申込期限 10月31日(木)まで
- 本庁舎文化振興課 内2384

うつくしま地球温暖化防止活動推進員養成研修会

- 日にち・会場 ▼第1回 11月1日(金)／郡山市総合福祉センター(郡山市朝日) ▼第2回 11月2日(土)／杉妻会館(福島市杉妻町)
- 共通II
- 時間 午前11時～午後4時
- 内容 地球温暖化の現状と対策、地球温暖化防止推進員の活動事例等
- 定員 各50人 ※先着順
- 受講料 無料
- 申込期限 10月21日(月)まで
- 申し込み・問い合わせ先 県環境共生課 ☎024-52117248

サンライズひがしフェスティバル2013

- 日時 11月3日(祝)／午前10時～午後3時30分
- 会場 東風の台運動公園内(東釜子)
- 内容 五合飯早食い大会、日本一に挑戦! シリーズ「コンコン焼」、ステージイベントなど
- サンライズひがしフェスティバル実行委員会事務局(東庁舎事業課内) ☎④2115

案内

建設工事等入札参加資格審査申請

平成26年度の建設工事・測量等の入札参加資格審査申請を受け付けます。

- 期間 11月1日(金)～29日(金) (平日のみ)
- 申請用紙 市ホームページから取得してください。
- 提出方法 必要事項を記入のうえ、指定の色のA4サイズのパファイルにトじて、本庁舎工事契約検査課(2階)に提出してください。
- ※ 昨年度(平成25・26年度の2年間)登録された方は申請の必要はありません。
- 本庁舎工事契約検査課 内2252

県民手帳・県勢要覧予約受付中

- ▽ 県民手帳(横断版・カレンダー版) 各500円
- ▽ 県勢要覧 1,500円
- 申込期限 10月31日(木)まで
- 申込先 本庁舎企画政策課

まちかど伝言板

各庁舎総務課、各行政センター
● 本庁舎企画政策課 内2327

子ども将棋道場

小・中学生で将棋を通じて友達を作りたい方、将棋に興味のある方を募集します。

- 日時 11月2日(土)～3月15日(土) (毎月第1・3土曜日) / 午前10時～正午
- 会場 中央老人福祉センター「白寿園」(北中川原)
- 参加料 2,000円
- 申し込み・問い合わせ先 日本将棋連盟白河支部 遠藤 090-1193315031 / FAX 2417

市民天体観望会

- 日時 10月19日(土) / 午後5時30分～7時 ※曇りや雨の場合は中止
- 会場 JR白河駅前駐車場(駅交番西側)
- 内容 望遠鏡を使ったお月見、星団の観察
- 参加料 無料

第17回しらかわ音楽の祭典

《市民音楽祭》
小・中学生、高校生および一般団体の合唱・合奏

- 日時 11月2日(土) / 午前9時から(午前8時30分開場)
- 会場 市民会館(手代町)
- 入場料 無料

《錦織健テノールリサイタル》

- 日時 11月9日(土) / 午後2時から(午後1時開場)
- 会場 市民会館(手代町)
- 入場料
 - ▷ 指定席券 一般 2,000円
 - 子ども 1,000円
 - ▷ 自由席券 一般 1,000円
 - 子ども 500円

- チケット販売所 市民会館、えきかふえ SHIRAKAWA、ラガタ楽器店、文化センター、東文化センター、文化振興課 ※指定席券は、文化センターのみ取り扱い
- 本庁舎文化振興課 内2384

渡邊五郎三郎講演会

- 日時 10月29日(火) / 午後6時30分から
- 会場 市立図書館地域交流室(道場小路)
- 内容 橋本左内の「啓発録」に学ぶ
- 入場料 500円
- 財立教志塾 ☎1427

中心市街地活性化事業

- ミニコンサート
 - 《フルート 佐川進一》
 - 日時 10月20日(日) / 午後4時～5時
 - 《オペラ 久保田東穂》
 - 日時 11月17日(日) / 午後4時～4時45分

音楽と癒しの会

- 共通
 - 会場 えきかふえ SHIRAKAWA 特設ステージ(郭内)
 - 入場料 無料
 - 福島県ミニコンサート実行委員会 遠藤 ☎090-1149617610
- 日時 10月26日(土) / 午後6時30分～8時30分
- 会場 カフェパル茶房瑠(中町)
- 内容
 - ▽ 祐生カオル 弾き語り
 - ▽ 吉田麻里香 リラクゼーションエクササイズ
- 料金 1,000円(ワンドリンク付) ※県南地区の避難者は無料
- 申し込み・問い合わせ先 NPO法人しらかわ市民活動支援会 ☎7595



市長の手控え帖
白河市長 鈴木 和夫

『今井珠泉画伯の迫力』

今月から小峰城の石垣の修復が始まる。震災からの復旧事業としては最後の大作になる。崩れた石のうち使えるものは再利用し、往時の工法で積み直す。東北の関門として北に備え築かれた小峰ヶ岡の城は、見事な石垣を誇る名城に数えられている。修復にあたり、国指定の史跡として、財政面や技術面で文化庁の全面的支援を受けられるのは心強い。

小峰城が歴史・文化的に重要な史跡であるとして、国の指定を受けたのは震災の7か月前。市長に就いた直後、石垣が長い年月と樹根の圧力で、見た目にも大きくふくらみ崩落を案ずる声を耳にした。すぐに指定に向けた作業を急いだのが幸いした。文化庁との協議が数か月遅れたら間に合わなかった。まさに間一髪、胸をなでおろした。完了には4年程度要するが、壮麗な石垣の再現を待ちたい。

さて秋の院展で本市出身の今井珠泉先生が、最高栄誉の内閣総理大臣賞に輝いた。福島県では初めての快挙であり、市をあげてお祝い申し上げます。県外在住功労者の知事表彰を受けられ、先頃までしらかわ大使を引き受けて頂くなど、県や市の美術・文化の振興に貢献されている。珠泉は雅号。恩師から王を頂き「珠」とし、下には水をたたえた南湖から「泉」としたとのこと。美しい真珠に「こんこんと涌く泉。なんと雅できれいな名でしょう。」

院展とは、日本美術院開催の公募展という。明治31年、岡倉天心らが美術院を結成し、絵画展を催したのが始まり。その後一旦解散し、横山大観らが再興したことから、再興院展と称し秋に開かれている。再来年はその百年にあたる。出品者には序列がある。一般、研究会員、院友、特待、招待として同人。先生は最高位の同人。これまで、本県では4人しか出ていない。入選3回で院友、入選20回または大観賞1回で特待、奨励賞15回または大観賞2回で招待、が推挙の条件。招待の中から、高い芸術性と人間性を備えた人が同人に選ばれる。同人は現在32人。同人への道は険しく遠い。憧れの地位には厳しさも伴う。院展には毎回出品しなければならぬ。大変な緊張を強いられるようだ。同人を除き、地位が上がったからといって入選する保証はない。老いも若きもない。今回も99才の女性画家がいる一方、先生が教鞭をとった大学の若い教え子もいる。

同人で構成する審査会で、過半数の手が挙がらないと入選できない。厳粛な空気の中、一枚の絵はわずか数秒で当落が決まるといふ。渾身の力で半年かけた作でも、実績のある人の作でも一切斟酌なし。全て実力がものをいう。院展ではレベルを維持するため、入選数は270程度に絞る。毎年新人が力をつけてくる。勢い、何人かのベテランが脱落していく。弱肉強食、容赦のない競争が繰り広げられる。先生は、「凡人だから勉強しなくては生き残れない」と自らを叱咤し、より厳しい立場に追いこみ名をなした。一筋の細い道を、よくぞここまで歩いてきたものだ、としみじみ述懐されている。

題は「流水幻想」(本紙最終面に掲載)。縦2m・横2.5mの大作。先生は、流水や北の大自然で命をつなぐワシ・タカを題材にする。4年前の文部科学大臣賞も流水と上空を舞うオジロワシを描いた。今回は流水そのものを表現している。右は全て氷、左は溶け始めた氷の裂け目から顔を出す海面に、月が煌々と照る。近づいて目をこらすと、氷の表がデコボコしている。なるほど、氷と氷はぶつかり盛りあがる。細部をゆるがせにしない写真に魅入った。それに氷には定まった形がない。形のなれいものを表現することは難しいし、白で表情を出すには優れた創作力がある。また海が氷と交わるところは、深い青に白がまじる微妙な色あいになる。深青の上に塗った白を、雑巾で巻きあげるようにふき、この色を出す。思いもよらない道具を用い、真に迫る技量に驚くばかり。

流水は神秘的。アムール川の氷がオホーツク海に流れこみ氷ができ、シベリアの風と海流に運ばれ、北海道東沿岸が一面氷で埋めつくされる。やがて春になり、氷がゆるむ「海明け」を迎える。先生は「風景が身体にしみこむ」まで流水の地に足を運ぶ。五感を研ぎ澄まし、自らも風景の一部となり対象を見つめる。

この絵で、一面の氷は真冬を、溶け始めた氷は春、月は夜明けを暗示している。厳しい冬とその先にある喜びと希望を表している。震災と原発に苦しむ福島への支援のメッセージとなっている。先生は、私が総理大臣賞に値するかどうか、来年の作品で真価を問いたいと話されている。画は格闘技であるという先生は83才。たじろぐほどの気力であり、意欲に満ちている。今井画伯のさらなる挑戦は続く。